【別紙②】

日本学校教育学会機関誌『学校教育研究』投稿要項

1. 論文原稿は未発表のものに限る。ただし，口頭発表及びその配布資料はこの限りではない。なお，同一著者による複数論文の同時投稿は認めない。

2. 本誌の投稿種別，およびその原稿枚数はA4判1枚を40字×30行として，下記の通りとする（図表・注・引用文献を含む）。ただし，編集委員会が特に指定したものについては，この限りではない。

　　　(1)自由研究論文 10枚以内

 　　(2)実践的研究論文　10枚以内

　　　(3)実践研究ノート　10枚以内

3. 原稿は横書きを原則とし，完成原稿とする。

4. 原稿には氏名や所属を一切記載しない。また，「拙稿」や「拙著」など，投稿者名が判明するような表現も避ける。

5. 原稿の1枚目には論文題目および英文題目のみを記入し，2枚目以降に本文をまとめる。なお，本文には論文題目や氏名，所属などは書かない。

6. 原稿には，キーワード（5語以内：日本語及び英文）を論文の本文末に書く。

7. 原稿とは別に，次の事項に関する投稿申込書を作成する。

　①氏名，②所属，③投稿区分（自由研究論文，実践的研究論文，実践研究ノートのいずれか），④論文題目，⑤英文題目，⑥現住所，⑦電話番号，⑧電子メールアドレス，⑨その他電子公開に必要な事項（この事項に関しては別途通知する）

8. 投稿に際し，①投稿申込書，②プリントアウト原稿(4部)，③電子媒体（原稿及び投稿申込書の電子データを保存したCD，USBメモリー等。投稿者名を明記），④「投稿に際してのチェックリスト」の4点を送付する。なお，送付物は原則として返却しない。

9. 論文等の投稿については，2月末日（消印有効とする）までに原稿を提出する。原稿送付先は，機関誌『学校教育研究』編集委員会宛とする。なお，投稿は郵送のみとする。

10.執筆者による校正は原則として1回とする。執筆者は校正時に加筆・修正をしないことを原則とする。

11.注および引用文献は，次のいずれかの方法を用いて，論文末に一括して掲げる。

　方式①：注と引用文献はともに注記として示す。注記は，文中の該当部に（１），（２）…と表記し，論文末に一括して記載する。なお，文献の記載方法は次の様式を準用する。

　［論文の場合］著者，論文名，雑誌名，巻号，年，頁。

　［単行本の場合］著者，書名，発行所，年，頁。

　方式②：注記は，文中の該当部に（１），（２）…と表記し，論文末に一括して記載する。また，引用文献は，文中に「…である（有田　1995，15頁）。ところが，新井（2003，25頁）によれば，…」などのように示し，アルファベット順に並べた引用文献のリストを，注の後ろにまとめて記載する。なお，引用文献の記載方法は次の様式を準用する。

　［論文の場合］著者，年，論文名，雑誌名，巻号，頁。

　［単行本の場合］著者，年，書名，発行所，頁。

附則：この要項は，平成21年11月1日から施行する。

　　　この要項の改正は，平成23年12月20日から施行する。

　　　この要項の改正は，平成27年7月19日から施行する。

 この要項の改正は，平成29年6月19日から施行する。

　　　この要項の改正は，平成30年12月17日から施行する。